

【特徴】

当院は地域の中核病院として機能しており、その中で内科は代謝内分泌、循環器、神経（神経内科と連携）、呼吸器（呼吸器内科と連携）、消化器（消化器内科と連携）等、内科全般の研修が可能である。

1年目より主治医として患者を担当するとともに、外来診療も週1ないし2回担当し、患者管理全般の研修を行う。

各分野の専門医がマンツーマンで指導にあたり、きめ細やかな研修を行う。

【研修目標】

1. 一般目標

内科としての基礎的修練・全人的医療の研修を行い、患者中心の良質な医療を提供できる臨床医になることを目標とする。

2. 行動目標

- (1) 一般内科医としての内科疾患全般の病態を理解し、その診断が行える。
- (2) 症状、愁訴から見た急性および慢性合併症に対し、重症度、進行度の診断ができ、その治療が適切に行える。
- (3) 急変や救急患者にも適切な処置を行うとともに診断し、その治療が行える。
- (4) 緩和ケアを適切に実践できるようになる。
- (5) 他科との連携を円滑に保ちながら、患者を総合的に診療できる。
- (6) 看護師・栄養士・薬剤師などコメディカルとともに患者を中心としたチーム医療が行える。
- (7) 患者の社会的・心理的背景を考慮した全人的医療が行える。

【方略】

- (1) 病棟では常時5～10名前後の患者を担当し、指導医とともに診断・治療にあたり、検査・治療・管理法を習得する。このことにより診療技術を習得するとともに、連携や指導、安全管理などトータルマネジメント能力を養う。
- (2) 外来では、週1ないし2回程度一般内科初診、予約診を担当し、外来における患者管理法を習得する。
- (3) 当直業務は月3～4回担当し、外来では二次救急に対応し、病棟では必要に応じて患者の急変に対応し、諸種の検査・診療手技にも習熟する。
- (4) 院内カンファレンスや学会にも積極的に参加し、自らも症例発表を行えるようになる。発表内容を論文として投稿できる。

【評価】

上記の行動目標について自己評価を行い、かつ指導者から評価を受ける。

【研修プログラム】

レジデント1～3年目：3年間を通じて、内科病棟・外来にて研修を行い、内科認定医の取得を目指す。

シニアレジデント：ほぼ常勤医と同じ内容で病棟・外来業務を行い、認定内科専門医の取得を目指す。

【見学等問い合わせ先】

内科部長 日浦 義和